

基 本 本 事 項	事務事業名	水道経営管理事業			所管部署名	水道課 庶務係		
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	63歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	秋谷 裕司
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	地方公営企業法、吉川市水道事業会計規程		
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第7節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計	
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	水道事業費用	営業費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 水道ビジョン			目 細目	総係費		
	目的	対象 (誰を、何を)	水道事業運営全般			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成方針の決定、予算要求、ヒアリング、原案の作成、予算案の議会提案、議決、公表 ・予算の執行管理 ・決算の調製、報告、公表 ・指標を用いた経営分析 	
	対象年齢	-	-					
意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	最小の経費で最大の効果が得られるよう、計画的かつ効率的な財政運営ができる。							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	70310101	会計処理	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 903101					70310102	計理状況の報告	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	913,887	14,950	15,014	14,825	△ 125	18,436	18,436
	② 人件費	9,397	12,376	13,902	11,210	△ 1,166	11,210	11,210
	正職員投入人員	1.21人	1.60人	1.76人	1.48人	△ 0.12人	1.48人	1.48人
	正職員人件費	9,397	12,376	13,902	11,210	△ 1,166	11,210	11,210
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	923,284	27,326	28,916	26,035	△ 1,291	29,646	29,646	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	923,284	27,326	28,916	26,035	△ 1,291	29,646	29,646	
受益者負担率(⑩÷⑤)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%	100.00%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	0	0	0
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 予算額	千円	-	1,466,088	1,451,701	1,451,701	1,451,701
	総収益		1,488,895	1,453,266	1,492,473		
②	予算額	千円	-	1,458,552	1,412,017	1,412,017	1,412,017
	総費用		1,424,200	1,367,653	1,390,893		
活 動 指 標	① 純利益	千円	57,173	7,536	39,684	39,684	39,684
	経常利益-(特別損失-特別利益)		64,695	85,612	101,580		
成 果 指 標	① 総収支比率	%	104.00	100.52	102.81	102.81	102.81
	総収益÷総費用×100		104.54	106.26	107.30		
②							

評価年度 の 主な 取 組	<p>本年度は、前年度に比べて、給水戸数、給水人口ともに増加し、年間総配水量及び有収水量も増加したことにより、経営の基盤となる給水収益も増加となった。収益的収支において、総収益は1,492,473千円となり、前年度と比べ、39,207千円の増、総費用は1,390,893千円となり、前年度と比べ、23,239千円の増となった。これにより、総収支比率は107.30%となり、101,580千円の純利益を出すことができた。(すべて税抜額)。また、給水戸数は30,664戸で、315戸の増、給水人口は73,206人で203人の増、一人一日当たり平均給水量は276リットルで9リットル増となった。有収率は92.87%で前年度と比べ、0.16%下落した。</p>
---------------------------	--

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【対象・手段】【意図】水道事業は、企業の経済性(最小の費用で最大の効果)とともに、公共の福祉の増進を図ることが義務付けられており、対象・手段・意図も妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					【役割分担】地方公営企業法の規定により、地方公共団体が経営することになっており、役割分担は妥当である。
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	255.97% ★★★★★ 達成された	① 純利益 (増加目標指標)	113.16% ★★★★★ 達成された	1136.04% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	104.37% ★★★★★ 達成された	① 総収支比率 (増加目標指標)	100.52% ★★★★★ 達成された	105.71% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【成果向上の余地】効率的な企業経営を行うため、収支比率の向上を図り総費用の平準化や経営の効率化により成果向上の余地がある。 【上位施策への貢献度】総合振興計画の大柱「暮らしを支える上水道の充実」の根幹である水道事業の安定経営に寄与している。				
価値性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		80.30% 減少している 256.30円	純利益 活動指標を単位として換算 単位：円/千円	118.84% 増加している 14,271.33円	2.24% 減少している 319.18円		
コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【コスト改善】委託業務内容のさらなる精査や、施設等の維持更新を計画的に進めることで、コスト改善の余地がある。 【受益者負担金の適正化余地】水道料金は水道事業を維持・運営するための必要最低限の費用を賄うために総括原価方式で算定されているため、受益者負担金の適正化余地はない。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	節水型機器の普及などによる水需要の伸び悩みによる水道事業の財政状況の改善を図るため、平成19年度に水道事業経営健全化計画を策定した。また、平成29年度から水道事業の中長期的な事業計画である経営戦略、水道ビジョンの策定に取り組み、令和元年度に完了した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、朽化した施設の更新	機会(プラス要素) 給水戸数、給水人口の増加
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するよう改善に努める。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	施設の老朽化による更新需要の見通し、将来の人口減少による財政状況への影響などを踏まえ、持続可能な水道事業を実現するための「水道ビジョン(経営戦略)」に基づいた中長期的に健全な事業運営を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	庁舎等維持管理事業			所管部署名	水道課 庶務係			
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	63歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	秋谷 裕司	
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	消防法、浄化槽法、道路運送車両法		
		まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	実施 計画 の 位置 付け	施策	第7節暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(1)水道施設の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	市 ま ち ・ ひ と ・ し ご と 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 水道ビジョン			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	水道事業費用 営業費用	
	事 目 的 的	対象(誰を、何を)	会野谷浄水場管理棟(庁舎)及び水道課所管の公用車			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	目 細目	総係費	
		対象年齢	- -					執行方法	一部委託 清掃、消防、浄化槽、ごみ処理委託
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)		庁舎や公用車の維持管理を適切に行い、良好な状態に保つことで安全に利用することができる。			①庁舎管理委託業務(定期清掃、ごみ処理) ②施設保守管理業務委託(消防設備、浄化槽、空調機他) ③公用車の維持管理(法定点検含む点検整備、保険の加入)				
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 70310201 庁舎管理	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 903102								

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	9,375	8,762	9,119	9,228	466	8,186	8,186
	② 人件費	621	155	158		△ 155		
	正職員投入人員	0.08人	0.02人	0.02人		△ 0.02人		
	正職員人件費	621	155	158		△ 155		
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	9,996	8,917	9,277	9,228	311	8,186	8,186	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	9,996	8,917	9,277	9,228	311	8,186	8,186	
受益者負担率(⑩÷⑤)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%	100.00%	
C 吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	△ 0	0	0	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 庁舎面積	㎡	985	985	985	985	985
	庁舎(1階、2階、別棟会議室)の延床面積		985	985	985		
活 動 指 標	② 公用車の台数	台	6	6	6	6	6
	公用車の保有台数		6	6	6		
実 績 指 標	① 施設管理委託件数	件	8	8	6	5	5
	施設管理業務の委託件数		6	8	6		
	② 庁舎修繕件数	件	1	1	1	1	1
	庁舎施設の修繕件数		3	3	4		
成 果 指 標	③ 公用車整備点検件数	件	6	6	6	6	6
	車検、12月点検件数		6	6	6		
成 果 指 標	① 事故発生件数	件	0	0	0	0	0
	庁舎、公用車事故発生件数		1	0	1		
②							

評価年度の主な取組	<p>・水道課事務棟(中央監視室)は、平成23年度に新築後10年が経過し、軽微ながらも修繕件数が増加傾向にある。保守点検業務を実施し、良好な施設の維持管理に努めている。また、既の実施していた保守点検業務についても、業務内容の見直しや、個別発注していた業務を一括発注に切り替えるなどして、効率的かつ効果的に事業を行っている。</p> <p>・保守点検業務</p> <p>①施設清掃業務委託(月・水・金の週3回、事務棟内の清掃)</p> <p>②定期清掃業務委託(窓ガラス、カーペット、床ワックス清掃、自動ドア点検を一本化)</p> <p>③事業系一般廃棄物の収集処理業務委託</p> <p>④浄化槽保守点検業務委託</p> <p>⑤消防設備保守点検業務委託</p> <p>⑥空調機保守点検及びフロン漏洩点検業務委託</p> <p>・公用車について、車検と12か月点検を1年毎に行うことで、安全に使用できるようにしている。車両の不具合については、可能な限り早急に対応することで事故等を未然に防ぎ、職員の安全確保に努めている。</p>

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	<p>【対象・手段】対象及び手段については、目的に見合った実績があり妥当である。</p> <p>【意図】最小の経費で最大の効果という目的に照らし、施設を安全にかつ適正な維持管理に努めるための業務委託であり、意図は妥当である。</p> <p>【役割分担】市の事務として実施することは妥当である。また、その事務の一部を委託している。</p>				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	-200.00% ★ 達成度がかなり低い	② 庁舎修繕件数 (減少目標指標)	-100.00% ★ 達成度がかなり低い	-100.00% ★ 達成度がかなり低い	
	成果指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 事故発生件数 (ゼロ値目標指標)	0% ★ 達成度がかなり低い	100.00% ★★★★★ 達成度された		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	【成果向上の余地】適切に業務を執行している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【上位施策への貢献度】水道施設(庁舎、中央監視室)の維持管理により、良質な水道行政サービスが提供できる。				
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		77.62% 減少している 2,307,060.50 円	庁舎修繕件数 活動指標を単位として換算 単位: 円/件	81.79% 減少している 3,332,026.33 円	89.21% 減少している 2,972,391.33 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【コスト改善の余地】備消耗品のさらなる削減と昼休み中の消灯など経費削減に努める。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	【受益者負担の適正化余地】庁舎維持管理事業は、受益者負担の余地はない。					

改革改善	これまでの改革・改善内容	<p>・平成23年度に水道課事務棟(中央監視室)が新築されたことで、来庁者及び職員の安全が確保されており、災害時等における水道の安定供給の拠点としても十分に貢献できる。</p>	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<p>リスク(マイナス要素)</p> <p>節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、老朽化した施設の更新</p>	<p>機会(プラス要素)</p> <p>給水戸数、給水人口の増加</p>
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	<p>水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するよう改善に努める。</p>	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	広報広聴事業			所管部署名	水道課 庶務係		
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	63歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	秋谷 裕司
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	水道法第24条の2		
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第7節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計	
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			款	項	水道事業費用 営業費用	
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 水道ビジョン			目	細目	総係費	
	目的	対象 (誰を、何を)	水道使用者			執行方法	一部委託 印刷製本	
	対象年齢	00	99	全年齢	手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	①水道週間行事の実施(6月1日~6月7日) ②水道広報紙「よしかわの水道」発行(8月、12月) ③水道啓発イベントの開催(9月) ④ホームページの更新(随時)		
	意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	水道事業の目的、事業の内容、その他水道に関する情報を得られるようになり、水道事業への理解が深まる。						
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 広報よしかわ等発行事業(政策室)			業務プロセス (No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 903103						

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A ト ー タ ル コ ス ト	① 事業費	501	510	751	469	△ 40	693	693
	② 人件費	1,864	1,547	1,580	303	△ 1,244	303	303
	正職員投入人員	0.24人	0.20人	0.20人	0.04人	△ 0.16人	0.04人	0.04人
	正職員人件費	1,864	1,547	1,580	303	△ 1,244	303	303
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	2,365	2,057	2,331	772	△ 1,284	996	996	
B 特 定 財 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	2,365	2,057	2,331	772	△ 1,284	996	996	
受益者負担率(⑩÷⑤)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%	100.00%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	0	0	0
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
標 設	① 世帯数	世帯	30,709	30,709	31,416	30,887	30,988
			市内の世帯数	30,216	30,216		
	② 全市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
			全市民	72,877	73,014		
定 動 指 標	① 水道だより発行回数	回	2	2	2	2	2
			水道だより発行回数	2	2		
	② ホームページ確認数	回	12	12	12	12	12
			ホームページを確認した数(毎月1日を確認日としている)	12	12		
実 績 指 標	① インターネットアクセス件数	件	23,000	41,000	52,000	52,000	52,000
			インターネットアクセス件数	40,634	51,044		
②							

評価年度の主な取組	・広報紙「よしかわの水道」発行状況 第30号 令和2年8月 26,500部 第31号 令和2年12月 26,500部
	・水道運営委員会開催状況 第1回 令和2年7月30日 第2回 令和2年11月5日 第3回 令和3年1月28日
	・啓発事業(水道イベント)の実施 市民まつりにおいて市水道事業の啓発イベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で市民まつりが中止となったため、実施できなかった。

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【対象・手段】広報広聴事業としての対象・手段は、妥当である。 【意図】情報提供という意図は、使用者(お客様)に対するサービス向上の手段として有効であり、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【役割分担】広報広聴は、市として行うものであり、妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 水道だより発行回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	141.87% ★★★★★ 達成された	① インターネットアクセス件数 (増加目標指標)	176.67% ★★★★★ 達成された	124.50% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【成果向上の余地】ホームページ情報の新鮮度を図るなど、成果向上の余地はある。 【上位施策への貢献度】上位施策が存在しない。				
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		37.55% 減少している 386,121.00 円	水道だより発行回数 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	204.91% 増加している 1,182,570.00 円	86.95% 減少している 1,028,266.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	【コスト改善の余地】現行のコストは適正である。 【受益者負担の適正化の余地】情報提供は、受益者負担の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	水道事業について市民の方に情報提供するために「水道だより」を平成18年度から年2回発行しているが、可能な限り最新の情報を提供するためにホームページの更新に努めている。また、水道運営委員会においては、水道事業の運営及び経営、そして今後の事業計画などについて、広く意見を聴取し、事業に反映できるようにするための資料を作成している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷 老朽化した施設の更新	機会(プラス要素) 給水戸数、給水人口の増加
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するよう改善に努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including '水道料金徴収事業', '事業期間', '事業区分', '実施計画の位置付け', '対象', '手段', '業務プロセス'.

Table with financial data including '区分', '平成30年度決算', '令和元年度決算', '令和2年度予算/決算', '令和3年度当初', '令和4年度計画'.

Table with performance indicators including '指標名', '単位', '平成30年度実績', '令和元年度実績', '令和2年度実績', '令和3年度計画', '令和4年度計画'.

評価年度の主な取組	●給水停止 停止予告通知発送2,068件、停止通知2,152件、停止執行163件
	●訪問徴収 1,943調定、10,630,562円徴収(うち夜間徴収 36日、262調定、1,566,718円徴収)

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・水道事業は地方公営企業法により、地方公共団体が行う事業であり、対象・手段、意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・水道事業は地方公営企業法により、地方公共団体が行う事業であり、役割分担は妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.35% ★★★★★ 達成された	② 水道料金調定件数 (増加目標指標)	97.59% ★★★★★ 概ね達成された	98.27% ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	99.33% ★★★★★ 概ね達成された	① 現年度水道料金収納率 (増加目標指標)	100.54% ★★★★★ 達成された	99.43% ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	受益者負担の原則に基づき水道料金を徴収するものであり、自主納付の推進を図りながら収納率の向上に努める。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		102.40% 若干増加している 468.60円	水道料金調定件数 活動指標を単位として換算 単位:円/件 502.14円	103.77% 若干増加している 502.14円	91.13% 若干減少している 457.60円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	コスト改善の余地:納期限内納付の増加により督促状や口座再振替の費用削減の余地がある。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	閉開栓業務、検針業務、月例処理、納付書作成・発送、料金徴収業務等を以前から民間事業者にて委託しているが、平成19年度より、未納者整理、滞納者給水停止、誓約者徴収業務などの一連の水道料金徴収業務についても委託した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、老朽化した施設の更新	機会(プラス要素) 給水戸数、給水人口の増加
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するよう改善に努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including '給配水維持管理事業', '水道課 施設係', and various evaluation criteria like '事業区分', '事業の性質', and '実施計画の位置付け'.

Table showing financial breakdown by '区分' (Category) and '年度' (Year), including '事業費', '人件費', and '間接経費'.

Table for '目標設定' (Target Setting) and '実績' (Actuals), listing '指標名' (Indicator Name), '単位' (Unit), and '計画(見込)値' (Planned/Forecasted Value).

水道管路の耐震性を向上させるため、石綿管を耐震性ダクタイル鋳鉄管に布設替し、給水管もステンレス管を使用するなど耐震化に努めた。

R2年度末 ダクタイル鋳鉄管布設状況 単位:m

継手別	S型	KF型	S II型	NS型	GX型	HPPE型	計
延長	2,096	426	3,878	128,933	3,548	269	139,150

注1: 管路延長はデータの電子化移行による精査により従前数値と整合しません

R2年度末 石綿管布設状況 単位:m

管種	ACP	SACP	計
延長	24,473	1,959	26,432

注1: 管路延長はデータの電子化移行による精査により従前数値と整合しません
注2: ACPとは通常石綿管、SACPとは鋼板巻込み石綿管

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市民生活のライフラインである配水管の耐震化を進めることにより、災害時において市民へ安定した給水を行うことができることから、手段及び意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	96.60% ★★★★★ 概ね達成された	① 石綿管延長 (減少目標指標)	100.14% ★★★★★ 達成された	103.56% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	97.37% ★★★★★ 概ね達成された	① 石綿管割合 (減少目標指標)	100.12% ★★★★★ 達成された	100.13% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・老朽管の布設替えを進めることにより、ライフラインの安全性が向上することから、成果向上の余地がある。 ・安心、安全な水道水を安定的に供給することができることから、上位施策への貢献度は高い				
業効性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		169.87% 増加している 16,768.59 円	石綿管延長 活動指標を単位として換算 単位: 円/m	186.08% 増加している 9,995.04 円	98.77% 若干減少している 9,871.63 円		
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・老朽管の布設替えに使用する資材は耐震管を使用する等限定されており、大幅なコスト改善の余地は少ないが、節水機器などの普及による使用水量も減少しているため、布設替を行う配水管口径のダウンサイジングの検討を進める。 ・加入者分担金や使用料等は近隣と比較して同等水準であり、適正化の余地は少ない。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	・資材の選定に際しては、流通状況や安定供給性を踏まえながらコストを比較し、できる限り一般的なものを採用し、コスト削減を図っている。 ・道路管理者が実施する事業と情報交換及び工事調整を図り、合理的かつ効果的な施工をすることにより、コストの削減を図っている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 首都直下型地震などの発生も想定されており、老朽化した施設の更新、災害対策への取り組みが必要となっております。	機会(プラス要素) 水道施設の計画的な更新を図るため、中期計画(5年~10年)を策定して事業を進めて、安心、安全な水道水を安定的に供給する。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	吉川市水道ビジョン(経営戦略)は、将来にわたって持続可能な水道事業を実現するため、これまでの取り組みに対する評価、課題の整理を行うとともに、厚生労働省が新水道ビジョンで示した、安全、強靱、持続の3つの観点から、課題に対応していくため策定した。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	老朽管の布設替えには、多額の費用が見込まれ財政的な負担も大きいことから、浄水施設や配水施設の更新をふまえながら計画的に事業を進めて行く。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	浄配水場施設管理事業			所管部署名	水道課 施設係		
	事業期間	昭和41年度 ~ 未設定	事業年齢	54歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	秋谷 裕司
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	水道法		
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第7節暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道企業会計	
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	資本的支出	建設改良
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	施設更新事業費	工事費	
	目的	対象 (誰を、何を)	(直接の対象)浄配水場の管理 (最終的な対象)水道水を利用する市民			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	浄配水場を適切に維持管理するため必要な修繕及び 施設更新を行う	
	対象年齢	-	-					
意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	安心・安全な水道水を安定的に供給する							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	60320201	配水ポンプ運転	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					60320204	浄水場運転管理	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	184,469	175,654	378,061	203,953	28,299	402,654	298,590
	② 人件費	13,668	12,840	13,112	20,829	7,988	20,829	20,829
	正職員投入人員	1.76人	1.66人	1.66人	2.75人	1.09人	2.75人	2.75人
	正職員人件費	13,668	12,840	13,112	20,829	7,988	20,829	20,829
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		198,137	188,494	391,173	224,782	36,288	423,483	319,419
資 源	⑥ 国庫支出金						0	
	国補助率							
	⑦ 県支出金						0	
	県補助率							
	⑧ 市債						0	
⑨ その他				275,673	89,113	89,113		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	122,040	104,452	115,500	114,840	10,388	75,900	75,900	
受益者負担率(⑩÷⑤)	61.59%	55.41%	29.53%	51.09%		17.92%	23.76%	
C 吉川市年間負担経費(A-B)		76,097	84,042	0	20,829	△ 63,213	347,583	243,519
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり						<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 配水量	m³	8,812,131	7,466,375	7,840,700	7,841,000	7,708,000
	水道水の総量		7,862,618	7,666,935	7,927,736		
②	給水人口	人	74,919	74,473	73,300	73,600	73,900
	水道水を利用する市民		72,866	73,003	73,206		
活 動 指 標	① 電気量	円	30,335,000	26,300,000	20,960,000	25,200,000	25,000,000
	浄配水施設で使用する電気量		24,733,987	24,929,212	23,274,155		
②	有収水量	m³	7,930,918	6,794,450	7,134,400	7,213,720	7,092,000
	水道事業収益となる水量		7,141,510	7,132,355	7,362,588		
成 果 指 標	① 有収率	%	90	91	91	92	92
	有収水量÷配水量		91	93	93		
②							

評価年度の主な取組	1 施設別配水量の状況		・令和2年度は、上笹塚1～3丁目、会野谷1～2丁目、中井1～3丁目、大字関新田1～2丁目、大字深井新田、大字加藤、大字関新田、大字中井、大字半割、美南2～5丁目などを中心に水質の維持向上を目的とする配水管路の洗浄作業を実施しました。洗浄水量の減により有収率は昨年より向上しました。 今後も、安心・安全な水道水を安定的に供給するため、必要に応じて配水管路の洗浄作業を実施します。
	施設名	配水量m ³	
	会野谷浄水場	4,607,221	
	南配水場	3,318,015	
	合計	7,925,236	
	2 施設別電気使用状況		
	施設名	電力量kwh	
	会野谷浄水場	589,213	
	南配水場	461,427	
	水源井戸	209,777	
合計	1,260,417		

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)			
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市民生活のライフラインである水道施設(浄配水施設)の維持管理は、市民へ安定した給水を行うことができることから手段及び意図は妥当である ・水道法2条に水道事業は地方公共団体が必要な施策を講じなければならないと規定されており、市が分担することは妥当である			
業効性	種別 活動指標 103.20% ★★★★★ 達成された 成果指標 102.05% ★★★★★ 達成された	令和2年度 評価指標(指標性質) ② 有収水量 (増加目標指標) 平成30年度 90.05% ★★★★★ 概ね達成された 令和元年度 104.97% ★★★★★ 達成された	① 有収率 (増加目標指標) 平成30年度 100.58% ★★★★★ 達成された 令和元年度 102.23% ★★★★★ 達成された	令和2年度 115.52% 増加している 30.53 円	平成30年度 107.18% 若干増加している 27.74 円 令和元年度 95.26% 若干減少している 26.43 円	
	成果向上の余地 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 上位施策への貢献度 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・安全・安心な水道水を安定的に供給するためには、市内全域の水質状況を確認し、計画的に配水管路の洗浄作業を行う必要があるが、効率的な洗浄作業計画を進めることにより、成果向上の余地はある ・浄配水施設を適切に維持管理することは、安全・安心な水道水を安定的に供給することができることから、上位施策への貢献度は高い	単位当たりコスト換算指標 有収水量 活動指標を単位として換算 単位: 円/m ³ ・水道施設全般において老朽化が進行し、定期的な修繕と計画的な更新が必要となっており、コスト改善の余地は少ない ・加入者分担金や使用料等は近隣と比較して同等水準であり、適正化の余地は少ない	変動率 		
単位当たりコスト変動率 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 受益者負担適正化の余地 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	浄水場・配水場周辺から、計画的に配水管路の洗浄作業を実施した結果水質改善が図られた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 首都直下型地震などの発生も想定されており、老朽化した施設の更新、災害対策への取り組みが必要となっております。	機会(プラス要素) 水道施設の計画的な更新を図るため、中期計画(5年～10年)を策定して事業を進めて、安心、安全な水道水を安定的に供給する。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	吉川市水道ビジョン(経営戦略)は、将来にわたって持続可能な水道事業を実現するため、これまでの取り組みに対する評価、課題の整理を行うとともに、厚生労働省が新水道ビジョンで示した、安全、強靱、持続の3つの観点から、課題に対応していくため策定した。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	浄水施設の修繕、更新には多額の費用が見込まれ財政負担が大きいことから、老朽管の布設替えながら計画的に事業を進めて行く。			
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	秋谷 裕司		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	県水受水事業			所管部署名	水道課 施設係			
	事業期間	昭和49年度 ~ 未設定	事業年齢	46歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	秋谷 裕司	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	水道法			
	基との計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第7節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道企業会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	水道事業費用	営業費用
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 水道ビジョン			目 細目	原水及び浄水	受水費	
		目的	(直接の対象)受水施設、計装設備の維持管理 (最終的な対象)水道水を利用する市民 対象年齢 - - 意図(対象にどのような状態になってほしいのか) 安心・安全な水道水が安定的に供給される。			執行方法	直営		
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			手 段 (どのような事業を行うのか)	主要な水道原水である県水を県企業局浄水場から受水するため、受水施設及び計装設備の維持管理を行うとともに、県水受水圧力の変動や水質不良等の発生時は、速やかに県企業局浄水場と連絡を取り、適切な対応を図る。			
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 903203				業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	60320103	県水受水管理
							60320104	深井戸運転	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータルコスト	① 事業費	526,858	501,224	532,675	521,695	20,470	523,516	523,516
	② 人件費	2,252	77	79	151	74	151	151
	正職員投入人員	0.29人	0.01人	0.01人	0.02人	0.01人	0.02人	0.02人
	正職員人件費	2,252	77	79	151	74	151	151
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		529,111	501,302	532,754	521,846	20,545	523,667	523,667
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	529,111	501,302	532,754	521,846	20,545	523,667	523,667	
受益者負担率(⑩÷⑤)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%	100.00%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	0	0	0
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 給水人口	人	74,919	74,473	73,300	73,600	73,900
	水道水を利用する市民		72,866	73,003	73,206		
②	配水量	m ³	8,812,131	7,466,375	7,840,700	7,841,000	7,708,000
	総配水量(水道水の供給量)		7,862,618	7,666,935	7,927,736		
活 動 指 標	① 県水受水量	m ³	7,670,800	7,234,600	7,430,100	7,442,400	7,533,500
	県企業局浄水場から受水する量		7,630,760	7,210,200	7,428,280		
②	県水の購入費	千円	511,815	490,606	504,940	505,771	511,962
	井戸水取水量		471,430	445,446	504,811		
③	井戸水取水量	m ³	1,141,331	231,775	433,000	282,461	322,910
	3号井、5号井、6号井、7号井の取水総量		231,858	432,616	529,813		
成 果 指 標	① 井戸水取水比	%	13	3	6	4	4
	井戸水取水量÷配水量		3	6	7		
②							

評価年度の主な取組	1 R2年度 県水受水量			・県水の供給元について 会野谷浄水場では主に県企業局庄和浄水場から県水を受水している。 南配水場では主に県企業局新三郷浄水場から県水を受水している。 ・水質改善について 残留塩素濃度の低下がみられる地域の水質改善を図るため、水質不良の水道水を強制的に排水し、これに伴う給水不足を防ぐ観点から、一時的に県水の増量を実施し、市民への安定供給に努めた ・井戸の使用状況について 主な取水井戸は、5号、6号、7号の各井戸とし、3号井は予備的に使用している	
	受水場所	受水量(㎡)	合計水量(㎡)		
	会野谷浄水場	4,097,320	7,428,280		
	南配水場	3,330,960			
	2 R2年度 井戸別取水量				
	取水井戸名	取水量(㎡)			
	3号井戸	16,064			
	5号井戸	222,926			
	6号井戸	145,923			
7号井戸	300,087				
逆洗ろ排等水量	△ 155,187				
合計水量(㎡)	529,813				

区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	井戸水の揚水は水環境の保全の観点から地盤沈下の抑制対策として揚水量が制限されており、水道水の全量を井戸水で賄うことは不可能であることから、県水を購入し年間を通じて市民に安全・安心な水道水を安定的に供給することは妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度
		活動指標	100.02% ★★★★★ 達成された	① 県水受水量 (減少目標指標)	100.52% ★★★★★ 達成された	100.34% ★★★★★ 達成された
	成果指標	78.55% ★★★ 達成度がやや低い	① 井戸水取水比 (減少目標指標)	177.30% ★★★★★ 達成された	18.06% ★ 達成度がかな	
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	県水の購入は、県との協議により長期的な見通しに基づき計画的に受水することとしており、取水施設や浄水施設、送水施設等の修繕若しくは更新における一時的な施設停止等で井戸水が使用不可の場合において、県水の増量給水の措置が可能であり、市民に安全・安心な水道水を安定的に供給することは成果向上の余地があり、上位施策への貢献度は高い。			
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	▲活動 ●成果
		91.86% 若干減少している 1,033.75 円	県水受水費 活動指標を単位として換算 単位：円/千円	106.40% 若干増加している 1,122.35 円	100.27% ほぼ変動していない 1,125.39 円	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・県水の購入単価は県が設定しており、コスト改善の余地はない。 ・使用料等は近隣と比較して同等水準であり、適正化の余地は少ない。			
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	井戸水を安定的に取水するため令和1年度に6号井戸の取水ポンプの更新工事を実施した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 井戸水の水質が県水に比べて末端給水栓の残留塩素が低下しやすい傾向があり、水質の安定的な確保が出来ない。	機会(プラス要素) 県水の比率を高めて配水すると、水質の安定的な供給ができる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			